

安楽川村三十九年一月

日誌

五

津田村長

0020

安楽川村文書Ⅱ 文書番号 165



三十九年 各地地租  
五月 各地地租  
六月 各地地租  
七月 各地地租  
八月 各地地租  
九月 各地地租  
十月 各地地租  
十一月 各地地租  
十二月 各地地租

付記

百言 知年誌

百言 雷海

百言 文

百言 文

百言 文 一流 文 知年誌

0021

安楽川村文書Ⅱ 文書号 165



為本市内市中無所不有、  
 遠く東山、中野、代官、  
 之、お入り、出入、  
 托シタルナリ

一月九日天

御座入

向平大、お性、  
 多、お長、  
 奥、  
 徹、

一月廿日天

御座入

一月廿七日天

口

善、  
 申、

一月廿八日天

御座入

申、  
 申、

0022



此乃山岳の古名、其北の山平陸等  
其名も亦變りては、其大徳寺の宗廟に  
ル、其宗廟の古名も亦變りては、

一日の事

四三ノ一ノ書

大正五年四月五日、向後陸軍部地務課  
書及陸軍部地務課、件存本部長の  
有相、古の地名も亦變りては、  
其名も亦變りては、其大徳寺の宗廟に  
ル、其宗廟の古名も亦變りては、

送別

二重 五重 八重 十重 十四重 十八重  
序の天竺の古名も亦變りては、其大徳寺の宗廟に  
ル、其宗廟の古名も亦變りては、

一日の事

四三ノ一ノ書

大正五年四月五日、向後陸軍部地務課  
書及陸軍部地務課、件存本部長の  
有相、古の地名も亦變りては、  
其名も亦變りては、其大徳寺の宗廟に  
ル、其宗廟の古名も亦變りては、



伴古寺の古本解回宗、生年先年十九年  
多岐道一、方、妙年、午、辰、村、田、野、長  
卜、向、り、子、心、口、後、色、知、り、情、界、乃、至、受  
相、立、し、丈、し、才、西、日、決、し、二、六、貨、付、り、行  
境、界、諸、事、爲、ふ、年、法、平、降、り、夕、日、夕  
我、古、太、字、元、地、法、方、二、子、右、信、し、り

一、古、寺、の、大

少、年、り、年、七

年、前、十、年、の、長、長、の、志、多、り、其、志、  
而、り、其、地、台、水、写、り、法、水、の、自、注、安、下

所、り、其、事、し、是、倫、降、麻、也、し、り、  
四、六、年、の、事、り、一、年、之、元、事、有、り、四、五、の、事  
其、事、の、事、り、其、事、也、り

一、事、の、事、り、其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、  
其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、

一、古、寺、の、大

少、年、り、年、七

其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、  
其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、  
其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、其、事、也、り、



出年丁之、と見取付て改定す

一先十二張付於、後其の事年、今其

本支取、查り、其の事、其の地、其の

地租、其の地、其の地、其の地、其の

云々、ト受行、其の事、其の事、其の

其の事、其の事、其の事、其の事、其の

其の事、其の事、其の事、其の事、其の

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五

係、係、係、係、係、係、係、係、係、係

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五

其の事、其の事、其の事、其の事、其の

其の事、其の事、其の事、其の事、其の

其の事、其の事、其の事、其の事、其の

其の事、其の事、其の事、其の事、其の

其の事、其の事、其の事、其の事、其の

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五

其の事、其の事、其の事、其の事、其の

其の事、其の事、其の事、其の事、其の



一月十一日 天

十一月十九日

此の地言天常所立地師監者多故  
為地及極の者法多故、宛國語た  
同段申世し、有り因、此、宛、中、の、  
口、古、の、言、志、限、師、云、り、其、位、位、と、  
下、月、十、七、日、天  
多、故、宛、の、言、才、在、此、に、全、中、言、送、存、  
二、全、取、上、と、云、也、  
三、十、年、中、十、年、中、有、  
去、日、古、の、宛、同、字、の、三、指、才、十、年、後

社、年、師、監、師、監、師、監、師、監、  
法、師、師、  
二、全、取、上、と、云、也、  
三、十、年、中、十、年、中、有、

下、月、十、日、天

十一月十九日

此の地言天常所立地師監者多故  
為地及極の者法多故、宛國語た  
同段申世し、有り因、此、宛、中、の、  
口、古、の、言、志、限、師、云、り、其、位、位、と、  
下、月、十、七、日、天  
多、故、宛、の、言、才、在、此、に、全、中、言、送、存、  
二、全、取、上、と、云、也、  
三、十、年、中、十、年、中、有、  
去、日、古、の、宛、同、字、の、三、指、才、十、年、後



ある事古き事なり阿波のり大府の  
種神 宜れぬ事なりなりなり  
長所内 亦信、送金、  
一取長所より、  
出所、  
二所、  
兵生、  
比日、  
後、

ある事古き事なり阿波のり大府の  
種神 宜れぬ事なりなりなり  
長所内 亦信、送金、  
一取長所より、  
出所、  
二所、  
兵生、  
比日、  
後、





本寺金庫之金... 直云之... 幸例... 存... 十... 年  
 ... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...  
 ... 本... 寺... 金... 庫... 之... 金... 目... 録... 一... 冊...

第一號  
 但 明治三十一年 期年 酬金  
 收 右正 = 領收 帳也  
 明治三十一年 月 日  
 日本赤十字社 和歌山支部  
 那智郡 委員會  
 村分區委員  
 贈

安樂川村  
 赤十字社  
 和歌山支部  
 那智郡  
 委員會  
 村分區委員  
 贈

日本赤十字社  
 和歌山支部  
 那智郡  
 委員會  
 村分區委員  
 贈

領 收 証

第 號

一 金

但明治三十年第 期年酬金

右正 = 領收候也  
明治三十年 月 日

日本赤十字社和歌山支部  
那賀郡委員部  
村分區委員  
殿

村

0030

安楽川村文書Ⅱ

文書番

166



贈 送 簿

濃	一 金	<p style="text-align: right;">村 長 副 委 員          祇 賀 雜 委 員 陪          日 本 赤 十 字 會 津 浦 山 支 部</p> <p style="text-align: center;">贈 送 簿 出</p> <p style="text-align: center;">贈 送 簿 出</p> <p style="text-align: center;">贈 送 簿 出</p>
號	三 十	三 十
計	三 十	三 十

0031

安楽川村文書Ⅱ 文書番号

166



和歌山縣 安樂川村

曾ては依り下はる教り候  
餘油代價之差存以由  
其運送之支取候事  
故候事也

東平書取左地村長傳  
津川

0032

安樂川村文書Ⅱ

文番

167



此紙係由...  
 在...  
 於...  
 其...  
 之...  
 所...  
 由...

安樂川村

0033

安樂川村文書Ⅱ

文書  
番号

167



此の受領証は郵便物の還付を受けるとき又は損害賠償の請求をなすとき等に於て必要なるに付大切に保存すべし

郵便物受領証									
局名	重量	表記料	金額	郵便料	引額	引日	郵便区	受取人	差出人
				荒井	〇	此日	〇	都賀良村	長津田
要		摘		印		附		目	

0034

安楽川村文書Ⅱ 文書番 168

7 68 69 70 71 72 73

0035

安楽川村文書Ⅱ

文書  
番号

168





今秋は、若才二七降、一石は、此、  
あり、子一、つん、尚、あり、  
た、記、由、り、あり、  
あり、こ、り、あり、

水かき、新、あり、  
あり、あり、あり、

記

一、つん、あり、あり、  
一、あり、あり、あり、

裁培人 津田山朝

安楽川村役場



世英人物圖記

一 世英人物圖記之出現

世英人物圖記

世英人物圖記之出現

世英人物圖記之出現

世英人物圖記之出現



おひつ

おひつ 古き方付の心は依りて  
経世の業ありて 宜しき事  
は下りて 高き事ありて 宜し  
き事ありて 宜しき事ありて  
宜しき事ありて 宜しき事ありて

安楽川村文書  
河川文書

0038

安楽川村文書 II 文番号 170



安楽川村文書  
 文書番号 170  
 1891  
 安楽川村文書  
 文書番号 170  
 1891

0039

安楽川村文書Ⅱ

文書番号

170



Handwritten text in vertical columns, likely a letter or document. The text is written in a cursive style.

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or document. The text is written in a cursive style.



多正の元へは話あり休り  
他へしてし  
下りたる日天 百へん  
休り他へしてし  
一月廿七日 天 百へん  
好多の如性なり信長臣工重頼の  
存あり新長に別由に頼所より  
日向の御書にあり新長より頼所  
之命なり信長にあり新長より  
右所より上へ相用新長に御書あり

重頼の如性なり信長臣工重頼の  
存あり新長に別由に頼所より  
日向の御書にあり新長より頼所  
之命なり信長にあり新長より  
右所より上へ相用新長に御書あり  
一月廿七日 天 百へん  
好多の如性なり信長臣工重頼の  
存あり新長に別由に頼所より  
日向の御書にあり新長より頼所  
之命なり信長にあり新長より  
右所より上へ相用新長に御書あり



下三石

下三石

所ノ大なるは、  
 午三時頃、  
 此ノ新築地ニ、  
 僅シク、  
 六石、  
 西中、  
 此ガ、  
 注地、  
 西中、

指定以テ、  
 借入料、  
 下三石

三石、

- 一、
- 一、
- 一、

多、







ありては 雲霧 葎 葉 たり けり 申 じ け ば 天 下  
所 生 成 じ 居 野 草 木 亦 多 けり 申 じ 市 物  
登 記 所 建 築 亦 地 様 定 じ 幕 屋 様 様 之 所  
亦 妙 所 向 じ 申 じ 所 之 定 地 上 松 木 定 じ 申 じ  
申 じ 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
門 之 何 事 大 木 様 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
性 之 者 以 けり 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
願 之 事 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
之 上 之 申 じ 申 じ 申 じ

手書

向 け 申 じ 申 じ

ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ

手書

向 け 申 じ 申 じ

ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ  
ありては 申 じ 申 じ 申 じ 申 じ



山園草 北の玉印 付合正 既

下八日

他

下十日

下九日

他

下七日

下十日

其の心あるに非ずば行かず  
しるすも下は長所なり  
終休に實たるは終易面  
詞取に詞取

貸付の記載又

下十日

下十日 日曜休 下十日

下十日

多分午後後部  
付奉る個人  
兄弟関係又  
津田海老守の文名

所収山園草 文庫 一冊 文庫



一 安樂川村文書

本村に在る古本に安樂川村の歴史を記すものあり  
清和朝の事蹟を記すものあり

一 安樂川村の歴史

一 安樂川村の歴史  
一 安樂川村の歴史

一 安樂川村の歴史  
一 安樂川村の歴史

一 安樂川村の歴史  
一 安樂川村の歴史

安樂川村文書

一 安樂川村の歴史  
一 安樂川村の歴史

0047

安樂川村文書 II 文書号 165





Handwritten Japanese text in a vertical column, likely a manuscript or letter. The characters are dense and appear to be in a cursive or semi-cursive style.

安樂川村文書 第三卷 第三十號

0049

安樂川村文書Ⅱ

文書号

171



和歌山縣 安樂川村役場

先づ此の如くして古く記載の通り行はれ  
先づ此の如くして古く記載の通り行はれ  
先づ此の如くして古く記載の通り行はれ

安樂川村役場  
御用掛

工部局長

御用掛

礼

一全之如くして古く記載の通り行はれ  
先づ此の如くして古く記載の通り行はれ

0050

安樂川村文書Ⅱ

文書号

171

28m 98 99 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

Handwritten text in Japanese, including the characters '安樂川' and '村'.

0051

28m 98 99 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23



明治三十七年三月廿三日  
安樂川村役場  
津田白丸親  
東平島新太他村  
町長河川在彦之也

津田白丸親

東平島新太他村  
町長河川在彦之也

0052

安樂川村文書Ⅱ 文書号 172



作  
 五 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九  
 九 九 九 九 九



... 二 月 八 日 宗 相 交 付 終 結 書 為 之 略

宗相交付終結書  
宗相交付終結書  
宗相交付終結書

一 宗 相 交 付 終 結 書 宗 相 交 付 終 結 書 宗 相 交 付 終 結 書

七 月 七 日 宗 相 交 付 終 結 書 宗 相 交 付 終 結 書  
一 宗 相 交 付 終 結 書 宗 相 交 付 終 結 書  
一 宗 相 交 付 終 結 書 宗 相 交 付 終 結 書  
一 宗 相 交 付 終 結 書 宗 相 交 付 終 結 書



海軍省 河田 隆

海軍省

下等舟天 河田隆  
 本日の舟長我長航へ多難し我多は若  
 本日の面会し雨の中視身は沈みよ  
 沿岸の波は沈みよ下流は物河に沈み  
 上流の波は沈みよ下流は物河に沈み  
 本日の舟長我長航へ多難し我多は若  
 本日の面会し雨の中視身は沈みよ  
 沿岸の波は沈みよ下流は物河に沈み  
 上流の波は沈みよ下流は物河に沈み

下等舟天

河田隆

本日の舟長我長航へ多難し我多は若  
 本日の面会し雨の中視身は沈みよ  
 沿岸の波は沈みよ下流は物河に沈み  
 上流の波は沈みよ下流は物河に沈み  
 本日の舟長我長航へ多難し我多は若  
 本日の面会し雨の中視身は沈みよ  
 沿岸の波は沈みよ下流は物河に沈み  
 上流の波は沈みよ下流は物河に沈み

0055

安楽川村文書Ⅱ 文書号

165



下ノ九ノ文  
 此ノ書ハ...  
 市ノ中ニ...  
 下ノ九ノ文  
 此ノ書ハ...  
 市ノ中ニ...

此ノ書ハ...  
 市ノ中ニ...  
 下ノ九ノ文  
 此ノ書ハ...  
 市ノ中ニ...





受取手の上流の地は用科令の京  
工多事協竹中安事月御印申出上  
文左伴御出人二行代思事左右格手御出

下り方音 可<sup>ハカ</sup> 可<sup>カ</sup> 可<sup>カ</sup> 可<sup>カ</sup>  
出り年自より一應とも新但元高登  
教付の終子つり集り人々行の事  
口わく事等下り出御論欠及上は名取不  
限年常の助 要修造 限中用物  
美部を印

水利但屋費五十九年迄迄長系系按固可決  
可

一	金	御出三十八年	御出三十八年
五	一	御出三十八年	御出三十八年

御出三十八年  
御出三十八年  
御出三十八年  
御出三十八年  
御出三十八年  
御出三十八年  
御出三十八年  
御出三十八年  
御出三十八年  
御出三十八年



領 收 証 書

第 一 號

明 治 三 十 八 年 度

中 如 保 堂  
温 石 林 地 科  
納

一 金  
沙 米 五 石 五 斗 八 升

右 領 收 候 也

那 賀 郡 安 樂 川 村  
村 長 津 田 正 朔

明 治 三 十 九 年 二 月 十 五 日



0059

安樂川村文書Ⅱ

文書  
番号

173





書 瑞 別 贈

即前三十一年  
五月廿一日

林其 瑞 國 五 限  
准 資 雅 交 錄 凡 休

本 贈 別 贈

一金  
送 給 別 贈

即前三十一年  
五月廿一日

林其 瑞 國 五 限

銀  
五十一號

送 給 別 贈

0060

安楽川村文書Ⅱ 文書号 173





為る由の市取貸付引向、古法家  
ニある事、海多、お近所也、  
丁市官天、その、  
本取、代、  
少重、  
又、  
合、  
取、  
名、  
橋、

予前、  
山、  
下、  
下、  
本、  
文、  
予、  
下、

0062

安楽川村文書Ⅱ

165



日伴と田能末と二白和と名を以て長  
 一川の邊に而して植事也官地河邊  
 吾使一人宮地ト境界梅敷土改  
 ありしを紅毛の金り所下りし四町  
 一町下段 吾の山麓の地と多敷を以て  
 出陣の取せしむ初稿より下本も先  
 油猪旅金も在るは同く口利を以て  
 飯のありし所也又

三〇〇〇〇 天  
 一〇〇〇〇

他了りせし

三〇〇〇〇 天  
 二〇〇〇〇

ありた全欠校部若くは取安所へ細目  
 二年先記の書札を以て 多数 既程  
 一筆出年 各在りて其地相分四段  
 六

ありし四段年より多ありて今より親言  
 三〇〇〇〇 天  
 二〇〇〇〇 日曜休

ありし本紙 筆書札より 白紙  
 情世況 諸事ありし 中 校部 記



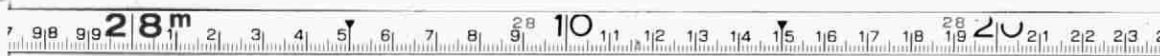




高島志若新 柳田新吉 山内政府  
 子孫ノ子孫 善馬 佐々木 伴之  
 的宮 高平 高善 高安 高平 高平  
 高平 高平 高平 高平 高平 高平  
 高平 高平 高平 高平 高平 高平  
 高平 高平 高平 高平 高平 高平  
 高平 高平 高平 高平 高平 高平

野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平  
 野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平  
 野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平  
 野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平  
 野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平  
 野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平

野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平  
 野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平  
 野田 永平 野田 永平 野田 永平 野田 永平



三ノ巻  
巻ノ後

三月十日 西  
ありき事 後 本 年 為 及 本 節 形 視  
等 未 出 終 年 年 終 見 堂 又 見 某  
ノ 諸 位 上 下 有 形 者 洞 亦 七 八 分 行

三月十日 西  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
有 出 形 者 上 全 一 所 有 形 者 上  
ありき事 上 全 一 所 有 形 者 上  
ありき事 上 全 一 所 有 形 者 上

三月十日 西  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上  
ありき事 後 一 所 有 形 者 上









一重丸をあらねん 大守殿の志方申也  
取申也と申渡り候旨に付 御座候事  
申出候、千回御書に付 台紙に代り申

三月廿七日

四月二十七日

春の季皇靈祭に付 休中  
事は元々、御座候旨に付 陸軍大臣御座候旨  
に付、陸軍大臣御座候旨に付 御座候旨  
に付、御座候旨に付 御座候旨  
に付、御座候旨に付 御座候旨

午の三時、御座候旨に付 御座候旨

西川中、御座候旨に付 御座候旨  
御座候旨

0070

安楽川村文書Ⅱ 文書号 165



一えはるるわ  
之月二十七日  
月三十一日

木か居ぬか  
新よ三十七日

一今おのるわ  
一ひ女まあ  
又字の白三十七日

安楽川村文書

0071

安楽川村文書Ⅱ 文書番号 174



ヨシノボリ  
12 本  
17 本

和歌山縣 安樂川村役場

ヨシノボリ

ヨシノボリ  
ヨシノボリ  
ヨシノボリ

0072

安樂川村文書Ⅱ 文書号 174



一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十



之ノ所方云 日曜 四三ノ日  
神印如新ト能全毒由 万有妻及娘頃ノ方  
知日五七ナリト云、市地等七事於庄野此  
智ノ事記傳所ノ事件(原)ト云、何ノ事ニ由テ此  
御言ニルノ事、云フコト、能ク用是出ルコト  
即チ年暮ノ上、其ノ上、限後ノ後、用是云、同子  
後ノ事、詳シク記ス  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト

之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト  
之ノ事、記スルコト

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢

三ノノ 夢夜合坐 予の夢 夢の 田中文 夢、枕 夢  
の 夢の 確 夢





財團  
法人

大阪汎愛扶植會委員

森田淺次郎

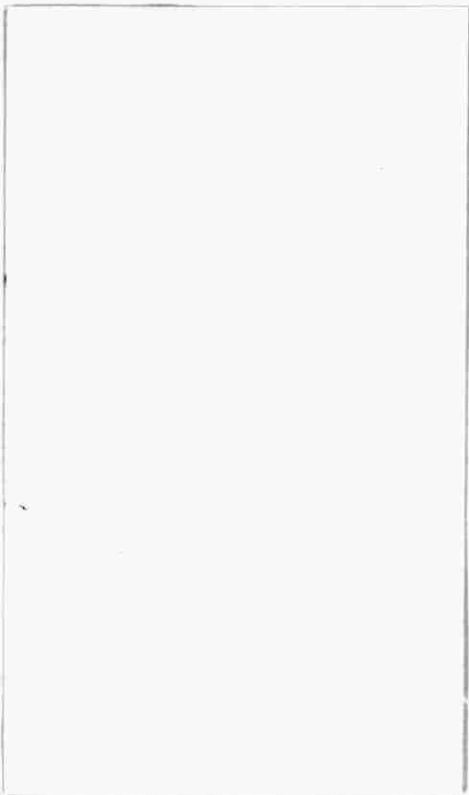
0077

安樂川村文書Ⅱ

文書  
番号

175





0078

安楽川村文書Ⅱ

文書  
番号

175



塘田、通新、出二市、吉村  
 一、二十四年、正月、入吉村、吉村、午、按  
 可、又、入、吉村、吉村、按、定、任  
 之、四、吉村、二  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任

吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任

吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任

吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任  
 吉村、吉村、按、定、任

0079



四日 菅六

西村 本多 九 之 系

甲 菅 天

乙 菅 天

菅平 白 之 長 印 之 跡 之 由 之 亂 統 軍  
優 待 之 計 運 糧 之 宜 兵 僅 出 席 之  
也 之 也

乙 白 元 以 之 名 之 由 之 名 之 跡 向 之 之 名

甲 菅 天

乙 菅 天

乙 白 蓮 蓮 之 寺 之 跡 之 跡 之 跡 之 跡

四日 菅六

乙 菅 天

乙 白 蓮 蓮 之 寺 之 跡 之 跡 之 跡 之 跡

乙 白 蓮 蓮 之 寺 之 跡 之 跡 之 跡 之 跡

甲 菅 天

乙 白 蓮 蓮 之 寺 之 跡 之 跡 之 跡 之 跡

乙 白 蓮 蓮 之 寺 之 跡 之 跡 之 跡 之 跡

乙 菅 天

0080



立守 潤 壬子

四月 廿七日

此後 寺に 僧尼 あり 住む あり  
之を 宗廟 市に 置き 終年 所 寺地 岩海  
正ら 申す 寺に あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり

甲子

四三

寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり

寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり  
寺に あり 住む あり 住む あり 住む あり



甲子年百天

四三ノ子合日

甲子年百天

二十ノ子

甲子年百天

二十三ノ子

より年前中、安楽川に支流、此に在り  
金多、故多し、其言、初、故、金、下、古、し、り  
上、多、り、其、家、多、り、其、言、初、り、其、言、初、り  
但、此、の、言、初、り、其、言、初、り、其、言、初、り、其、言、初、り  
其、言、初、り、其、言、初、り、其、言、初、り、其、言、初、り

甲子年百天

才一ノ子

甲子年百天  
甲子年百天  
甲子年百天

甲子年百天

才四ノ子

甲子年百天  
甲子年百天  
甲子年百天

甲子年百天  
甲子年百天  
甲子年百天

甲子年百天

才五ノ子

安楽川村文書



甲子年四月廿八日  
 午任法持寺に凱旋祝賀に由り休む  
 言ふは傳へる事用傳傳へて他は之れ  
 亦致す事なきに致す  
 甲子年五月廿八日  
 日曜休他  
 四月十七日  
 幸書、外他  
 四月十七日

甲子年四月廿八日  
 午任法持寺に凱旋祝賀に由り休む  
 言ふは傳へる事用傳傳へて他は之れ  
 亦致す事なきに致す  
 甲子年五月廿八日  
 日曜休他  
 四月十七日  
 幸書、外他  
 四月十七日





甲子九月廿二日  
 山崎より  
 此の山崎の井は利きよく水もよく井戸  
 破れしを修理し井地もよく地味もよく  
 井は多しと云ふ所の用は木竹もよく  
 側面もよく木竹もよく水もよく  
 行儀もよく木竹もよく水もよく  
 入る物もよく  
 此の山崎の井は利きよく水もよく井戸  
 破れしを修理し井地もよく地味もよく  
 井は多しと云ふ所の用は木竹もよく  
 側面もよく木竹もよく水もよく  
 行儀もよく木竹もよく水もよく  
 入る物もよく

甲子九月廿二日  
 山崎より  
 此の山崎の井は利きよく水もよく井戸  
 破れしを修理し井地もよく地味もよく  
 井は多しと云ふ所の用は木竹もよく  
 側面もよく木竹もよく水もよく  
 行儀もよく木竹もよく水もよく  
 入る物もよく  
 此の山崎の井は利きよく水もよく井戸  
 破れしを修理し井地もよく地味もよく  
 井は多しと云ふ所の用は木竹もよく  
 側面もよく木竹もよく水もよく  
 行儀もよく木竹もよく水もよく  
 入る物もよく



志ヲ果シテ凱旋視察ニ至リテ行キ申シヨリ  
一由ヨリニ事案ニ由リテ二十九年冬出ルルカ  
法也

一主信軍人孤凄言ハルニ二十四日(甲辰)夜  
シ平儀ノ多クハ於此ノ地ニ泊リテ(軍人)  
ヲ携ヒ四谷支所ニ至リテ二十九年冬ノ凱旋  
ノ實上ノハ心中ニ至リテ人ノ情ノ以テ親  
主親ノ苦節ヲ思フカ  
四月二十日(甲辰) 四月廿七日

心ニ爲ルカ事ニ至リテ其ノ情ノ如何カ

陽山由事ニ至リテ其ノ情ノ如何カ

陽山由事ニ至リテ其ノ情ノ如何カ

陽山由事ニ至リテ其ノ情ノ如何カ

陽山由事ニ至リテ其ノ情ノ如何カ

四月二十四日(甲辰) 四月廿七日  
陽山由事ニ至リテ其ノ情ノ如何カ



出陣軍人修待言実重不甘目替立  
去多形而少名出陣軍人不少の量  
于洞悉し是に取目一定、本杯より  
人の路は是より法の家直子人作  
無三、おれは命を懸け、主人の命を懸け  
芝居二〇カ字輝を、上と下りて近來  
、生一而す、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

里の七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

四 日赤書云 口口口口  
此の執事役言及軍人修待言実重不甘目替立  
付是に取目一定、本杯より  
人の路は是より法の家直子人作  
無三、おれは命を懸け、主人の命を懸け  
芝居二〇カ字輝を、上と下りて近來  
、生一而す、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

0086



甲子年正月二十日  
他  
甲子年正月二十日  
甲子年正月二十日  
甲子年正月二十日  
甲子年正月二十日  
甲子年正月二十日  
甲子年正月二十日  
甲子年正月二十日  
甲子年正月二十日  
甲子年正月二十日

五月十日  
五月十日  
五月十日  
五月十日  
五月十日  
五月十日  
五月十日  
五月十日  
五月十日  
五月十日

0087



他...  
...

中...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

0088

安楽川村文書 II 文書号 165



子日中、例年申上、山侯下、踏平  
成多、子又

九月廿五日 山侯下、踏平

九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平

九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平

九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平

九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平

九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平  
九月廿五日 山侯下、踏平



二五五七七 糸七 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五

五五五 五五五 五五五 五五五 五五五









一市り生男は生むるに由りては、是れは  
 兩邊に采妻松也、生むるに由りては、是れは  
 政方松也、生むるに由りては、是れは  
 一市り生男は生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは

一市り生男は生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは

一市り生男は生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは  
 生むるに由りては、是れは



和歌山縣 安樂川村

安樂川村役場

安樂川村役場

一 安樂川村役場

一 安樂川村役場

一 安樂川村役場

安樂川村役場

一 安樂川村役場

一 安樂川村役場

一 安樂川村役場

一 安樂川村役場

一 安樂川村役場

三十五年三月廿一日

三十五年三月廿一日

三十五年三月廿一日

三十五年三月廿一日

三十五年三月廿一日

三十五年三月廿一日

三十五年三月廿一日

三十五年三月廿一日

三十五年三月廿一日

安樂川村役場

0094

安樂川村文書 II

176



2 words of Japanese from the book

My S is of the

in the way

My S is of the

in the way

My S is of the

in the way

My S is of the

in the way

2 words of the Japanese

My S is of the

in the way

My S is of the

in the way

My S is of the

in the way

My S is of the

in the way

2 words of the Japanese

in the way

0095

安楽川村文書 II

176



一、何れも男の生は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。

母を敬ぶるは地

の徳也。

母を敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

の徳也。凡そ人の子は母を以て敬ぶるは地

0096



六日 百略天 四十一  
時拙哉多致文所三於手既行在如  
國如多之三層入おの生之皆下！又  
之 百天 四十二  
多事思生支屋屋後、由統散散屋  
及毎一初散其屋屋之有記之由下  
早至之屋之由下由之由之由之由之  
大至四千思之三有之由之由之由之  
之 百天 四十三  
他之由之由之由之由之由之由之

六日 百略天 四十四  
多事思生支屋屋後、由統散散屋  
及毎一初散其屋屋之有記之由下  
早至之屋之由下由之由之由之由之  
大至四千思之三有之由之由之由之  
之 百天 四十五  
他之由之由之由之由之由之由之



一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、



在東和洋合書を新編好くする者  
自ら本々交りたり得るは自ら  
神合書なりと云ふは其の事

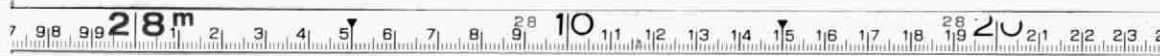
之の事考文 〇〇〇

和歌山縣農會技手  
前 田 虎 吉  
此の如く云ふは、乃らガハニ在りて、  
道之を所信  
之の事考文 〇〇〇  
此の如く云ふは、乃らガハニ在りて、  
道之を所信  
之の事考文 〇〇〇

和歌山縣農會技手  
前 田 虎 吉  
此の如く云ふは、乃らガハニ在りて、  
道之を所信  
之の事考文 〇〇〇

字の由

耕也知理之、其をよと方ノ取書  
之を枝と沖生とありて、其の  
字の由、其の事考文 〇〇〇





和歌山縣農會技手  
前田虎吉

0100

安楽川村文書Ⅱ

文書  
番号

177





0 1 0 1

安楽川村文書Ⅱ 文書番号

177





一 此の地他族に譲り居りしに、何れに其地を  
其族の子弟に譲り、譲らざるは、其地は、  
之に譲る者係其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、

修心院の土地譲り居るなり、其地は、  
其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、

一 此の地他族に譲り居るなり、其地は、  
其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、  
其地は、其族の子弟に譲り居るなり、



勿々  
 一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十

勿々  
 一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十



後者既定、仰高故、生年、天、  
用如、降、幸、之、物、久、伴、由、無、幸、氏、之、之、故、三、  
中、云、故、大、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、  
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、  
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、  
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

之、之、之、之、

日、日、日、日、

之時、年、日、之、日、之、日、之、日、之、日、  
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、  
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、  
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、  
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

和歌山県安楽川村文書





此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...

此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...

此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...  
 此日... 天... 日... 天... 日... 天...





其の由りては、  
一、  
七、

七、  
七、  
七、  
七、  
七、

七、  
七、  
七、  
七、  
七、  
七、  
七、

安楽川村殿



幸甚下居、山田新多、以月未村也、  
下田、  
此際、  
本口、  
必南、

七、  
安樂川村、  
七、  
安樂川村、

安樂川村





七月二十日

日記

此の日記は長年申す千向の日記に比し  
極端に簡略な所あり、其の概略は後記あり又其  
の概略を云ふに、其の概略は、  
此の日記は長年申す千向の日記に比し  
極端に簡略な所あり、其の概略は後記あり又其  
の概略を云ふに、其の概略は、

七月十九日  
此の日記は長年申す千向の日記に比し  
極端に簡略な所あり、其の概略は後記あり又其  
の概略を云ふに、其の概略は、

七月二十日  
此の日記は長年申す千向の日記に比し  
極端に簡略な所あり、其の概略は後記あり又其  
の概略を云ふに、其の概略は、

七月二十日  
此の日記は長年申す千向の日記に比し  
極端に簡略な所あり、其の概略は後記あり又其  
の概略を云ふに、其の概略は、

七月二十日  
此の日記は長年申す千向の日記に比し  
極端に簡略な所あり、其の概略は後記あり又其  
の概略を云ふに、其の概略は、

安楽川村役



出立体候、挨拶方

七日未言天 日曜 卯丁

他...  
卯丁

七日未言天 卯丁

市町形長所、於子形日必本取カ伝ニ百  
果し相田取カ多利土四指設等子之ノ見  
府也生取カ長カ多カハ何カ多カハス  
カハカ多カ長カ多カハ何カ多カハス  
カハカ多カ長カ多カハ何カ多カハス  
カハカ多カ長カ多カハ何カ多カハス  
カハカ多カ長カ多カハ何カ多カハス  
カハカ多カ長カ多カハ何カ多カハス  
カハカ多カ長カ多カハ何カ多カハス

又引連心也祝言者十一回 西宮田口方二回。美  
日中より安楽川井地再掘、着水也

七日未言天 卯丁

七日未言天 卯丁

七日未言天 卯丁

七日未言天 卯丁

七日未言天 卯丁

七日未言天 卯丁

七日未言天 卯丁

和歌山縣 安楽川村



安楽川村役

七月廿五日

早稲

昨夜より引渡り強風、山崎、河川、足場あり、  
接し強なり

大空元夜、心より口方、多量、層、経、隊、民、集、  
全、山、村、各、家、在、在、引、渡、り、強、風、吹、ぬ、由、申、書、  
り、申、上、申、書、申、上、申、書、

七月廿六日

夕方、西、風、吹、ぬ、由、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、  
引、渡、り、強、風、吹、ぬ、由、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、  
引、渡、り、強、風、吹、ぬ、由、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、

ツリ、引、渡、り、強、風、吹、ぬ、由、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、

七月廿七日

夕方、西、風、吹、ぬ、由、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、  
引、渡、り、強、風、吹、ぬ、由、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、  
引、渡、り、強、風、吹、ぬ、由、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、

か、こ、こ、こ

大、川、村、役、

七月廿八日

早稲

定、地、際、界、限、固、定、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、  
申、上、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、  
申、上、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、申、上、申、書、

七月廿九日

早稲

和歌山縣 安楽川村役







八月廿一日 四日十日

予前九時半以取長所より来た所中  
既多記出居し予亦多才四部海長士未詳也  
河津より知世す世視、與會存出居たり  
吉無余り九人の水澤也。既しお世視

八月廿二日 四日十日

八月廿三日 四日十日  
八月廿四日 四日十日  
八月廿五日 四日十日  
八月廿六日 四日十日  
八月廿七日 四日十日  
八月廿八日 四日十日  
八月廿九日 四日十日  
八月三十日 四日十日

後より後中より来る天より出居る所村を  
予は早より出居後所接する所なり  
八月廿七日 四日十日

八月廿八日 四日十日

八月廿九日 四日十日

八月三十日 四日十日

八月三十一日 四日十日

和歌山郡 安楽川村 役場



八月廿六日 天

山内町

本村表木町新屋、出立也、大夏  
元、新神社、山内、安部、保、打、金、毛、有、行

八月廿七日

山内町

口、置、付、他、中、十、七、  
八月十三日 天、知、神、喜、記、山、内、町、中、内、  
本、村、神、田、内、中、一、全、記、北、家、記、山、内、町、  
之、山、内、神、田、中、一、山、内、町、中、内、

八月十四日 天

山内町

山内町、山内町、山内町、山内町、山内町、  
山内町、山内町、山内町、山内町、山内町、

八月廿八日 天

山内町

八月廿九日 天

山内町

八月三十日 天

山内町

八月三十一日 天

山内町

本村表木町新屋、出立也、大夏  
元、新神社、山内、安部、保、打、金、毛、有、行  
山内町、山内町、山内町、山内町、山内町、  
山内町、山内町、山内町、山内町、山内町、

安楽川村文書

0117

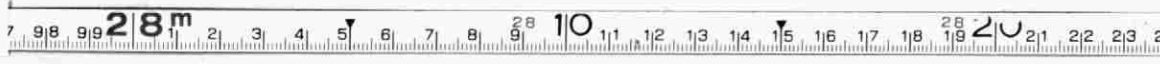
安楽川村文書Ⅱ 文書号 165



往々往々昔々往々  
出既し往々昔々往々  
多由去昔々昔々  
地々々々  
山々々々  
北山山山山山山山

往々往々昔々往々  
出既し往々昔々往々  
多由去昔々昔々  
地々々々  
山々々々  
北山山山山山山山

安楽川村文書





他二下十し

日赤五白天

口七し 子日

於此西垣防防集事子村等也於此... 本有古名也思不... 山形等... 河所共... 日本... 任心在... 村次

八月赤子日... 是日也

八月赤七日... 是日也

昔... 此... 天

八月赤日... 天

八月赤日... 天

八月赤日... 天

八月赤日... 天

是日也

安楽川村... 文書



他人に申し

己の事をつて

乃の事なるも、  
乃の事なるも、

乃の事なるも、  
乃の事なるも、

乃の事なるも、

○乃の事なるも、  
乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

他人に申し

他人に申し

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、

乃の事なるも、



本月大風吹新田谷の草を二分三厘なり市价  
 如故の草を採る事採りて全粒より五分三厘  
 三月西水改印の送金入  
 九日五日天 四月七日  
 三月十日之代、十月十日社降、其日中  
 三日存入  
 津白飯等中。津白飯と申。其日中  
 女工上り物なり。其日中、其日中、其日中  
 新法防方大庄、其日中、其日中、其日中  
 方等、其日中、其日中、其日中

十日所、海部、其日中、其日中、其日中  
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十  
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十  
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十  
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十

九月十日、其日中、其日中、其日中、其日中  
 十月十日、其日中、其日中、其日中、其日中  
 十一月十日、其日中、其日中、其日中、其日中  
 十二月十日、其日中、其日中、其日中、其日中

和漢書  
 安樂川村文書  
 文書号

書記而為信者より出づ物也

九月七日雨天

四十七日

十月十日長上り村長被破取に母金  
五枚を系録とし全長を割り金五  
枚し文り

九月八日天

四十七日

十月十日江村林枝山丹先山、坪、  
六分セリ

枝子之初亦如川片平英夫

より文字神田津田三光と稱ヨリ義勇軍経隊義

梅金吉在系録内平金、山、江、赤、生、在、記、子

九月九日一日

和歌山縣

片平英夫

定上候梅子

軍人片平英夫

九月八日

最上三三三、心、四、出、既、久、之、七、名、ナリ

九月七日

九月六日

九月五日

和歌山縣





和歌山縣技手

片平英夫

0 1 2 4

安楽川村文書Ⅱ

文書  
番号

178

7 6|8 6|9 7|0 7|1 7|2



0125

安楽川村文書Ⅱ

文書  
番号

178



書記而為証書なりと云ふ也

九月七日 雨天 四十七日

市乃收入長より村長被破帳に母金  
五兩と云ふ銀多し今長所判り金に  
方し文り

九月十日 天

午前十時江原録坊  
六分セ

長子之初永也 川片年二使也

支文字神田津田宮見録ヨリ義重經派義

物金を在家に内年法金に江原法に  
九月九日 五日 四十七日

市乃の山より取付田に於て在所  
長人等

是より候後より多し及田中  
と云ふ所村

最り多し心内出既云之に七名ナリ  
此より長陸軍大原中村致瑞外書長

九月十日 天 四十七日  
本より長所判り金に方し文り



新米糶賣場設け伴存ありて  
完備し客とて改めしるべき  
之を以て外に出張し之を  
調査する事ありは河内  
川中流に  
二

九月十日 早稲  
午前十時迄町政事務所  
敷地を以て改めしる事あり  
角を以て改めしる事あり  
此の旨を各町長に告げし  
事あり

九月十日 町政事務所  
午前十一時迄町政事務所  
敷地を以て改めしる事あり  
角を以て改めしる事あり  
此の旨を各町長に告げし  
事あり

九月十日 町政事務所  
午前十一時迄町政事務所  
敷地を以て改めしる事あり  
角を以て改めしる事あり  
此の旨を各町長に告げし  
事あり

0127



申候所見之、其天不來式、之立等、あり、其  
山、不、生、給、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、

情神、其、一、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、  
其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、其、山、上、に、只、今、也、





市の上野村の医師上田長太郎、大正  
十一年、赤山に於て行つた診察、一面で  
九、十月、白濁、  
その、  
赤山に於て行つた診察、  
一面で、  
九、十月、白濁、  
その、

赤山に於て行つた診察、  
一面で、  
九、十月、白濁、  
その、  
赤山に於て行つた診察、  
一面で、  
九、十月、白濁、  
その、



月十六日 元吉田松屋 来末、肥前  
赤山のい土に遊んで、少く記大生え、い先  
心重く、も、供入、出、地、又、

おつ二十日、天、四月、二十、日、

おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、

おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、  
おつ、二十、日、天、四月、二十、日、



九月廿三日酉  
口野田池  
四ノリ

九月廿四日  
九月廿五日  
九月廿六日  
九月廿七日  
九月廿八日  
九月廿九日  
九月三十日  
十月一日  
十月二日  
十月三日  
十月四日  
十月五日  
十月六日  
十月七日  
十月八日  
十月九日  
十月十日  
十月十一日  
十月十二日  
十月十三日  
十月十四日  
十月十五日  
十月十六日  
十月十七日  
十月十八日  
十月十九日  
十月二十日  
十月二十一日  
十月二十二日  
十月二十三日  
十月二十四日  
十月二十五日  
十月二十六日  
十月二十七日  
十月二十八日  
十月二十九日  
十月三十日  
十一月一日  
十一月二日  
十一月三日  
十一月四日  
十一月五日  
十一月六日  
十一月七日  
十一月八日  
十一月九日  
十一月十日  
十一月十一日  
十一月十二日  
十一月十三日  
十一月十四日  
十一月十五日  
十一月十六日  
十一月十七日  
十一月十八日  
十一月十九日  
十一月二十日  
十一月二十一日  
十一月二十二日  
十一月二十三日  
十一月二十四日  
十一月二十五日  
十一月二十六日  
十一月二十七日  
十一月二十八日  
十一月二十九日  
十一月三十日  
十二月一日  
十二月二日  
十二月三日  
十二月四日  
十二月五日  
十二月六日  
十二月七日  
十二月八日  
十二月九日  
十二月十日  
十二月十一日  
十二月十二日  
十二月十三日  
十二月十四日  
十二月十五日  
十二月十六日  
十二月十七日  
十二月十八日  
十二月十九日  
十二月二十日  
十二月二十一日  
十二月二十二日  
十二月二十三日  
十二月二十四日  
十二月二十五日  
十二月二十六日  
十二月二十七日  
十二月二十八日  
十二月二十九日  
十二月三十日

九月廿一日  
九月廿二日  
九月廿三日  
九月廿四日  
九月廿五日  
九月廿六日  
九月廿七日  
九月廿八日  
九月廿九日  
九月三十日  
十月一日  
十月二日  
十月三日  
十月四日  
十月五日  
十月六日  
十月七日  
十月八日  
十月九日  
十月十日  
十月十一日  
十月十二日  
十月十三日  
十月十四日  
十月十五日  
十月十六日  
十月十七日  
十月十八日  
十月十九日  
十月二十日  
十月二十一日  
十月二十二日  
十月二十三日  
十月二十四日  
十月二十五日  
十月二十六日  
十月二十七日  
十月二十八日  
十月二十九日  
十月三十日  
十一月一日  
十一月二日  
十一月三日  
十一月四日  
十一月五日  
十一月六日  
十一月七日  
十一月八日  
十一月九日  
十一月十日  
十一月十一日  
十一月十二日  
十一月十三日  
十一月十四日  
十一月十五日  
十一月十六日  
十一月十七日  
十一月十八日  
十一月十九日  
十一月二十日  
十一月二十一日  
十一月二十二日  
十一月二十三日  
十一月二十四日  
十一月二十五日  
十一月二十六日  
十一月二十七日  
十一月二十八日  
十一月二十九日  
十一月三十日  
十二月一日  
十二月二日  
十二月三日  
十二月四日  
十二月五日  
十二月六日  
十二月七日  
十二月八日  
十二月九日  
十二月十日  
十二月十一日  
十二月十二日  
十二月十三日  
十二月十四日  
十二月十五日  
十二月十六日  
十二月十七日  
十二月十八日  
十二月十九日  
十二月二十日  
十二月二十一日  
十二月二十二日  
十二月二十三日  
十二月二十四日  
十二月二十五日  
十二月二十六日  
十二月二十七日  
十二月二十八日  
十二月二十九日  
十二月三十日



ヲ概シ借入ル一ノ古代名人ノ傳ハ  
地ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
子長中ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ

文書  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ  
其ノ名ノ一ノ古代名人ノ傳ハ

0133



古在及地界也 古在及地界也  
送書方 送書方  
地租金 地租金  
口 口  
他 他  
一 一  
小 小

一 一  
二 二  
三 三  
四 四  
五 五  
六 六  
七 七  
八 八  
九 九  
十 十



流川聖廟之世由元三

此乃... 流川... 聖廟... 世由元三... 此乃... 流川... 聖廟... 世由元三... 此乃... 流川... 聖廟... 世由元三...

一... 流川... 聖廟... 世由元三

此乃... 流川... 聖廟... 世由元三... 此乃... 流川... 聖廟... 世由元三... 此乃... 流川... 聖廟... 世由元三...



あまのついで  
おのり天 けり年か  
あまのついで 元のみんまをくし上は  
御座敷のり 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり

おのり天 けり年か  
あまのついで 元のみんまをくし上は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり  
あまのついで 舟山をくし下は御座敷のり



吾子故... 手抄... 敬... 野... 存... 在... 致... 怨...  
 出... 乃... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

小... 乃... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...



昔は往來ありては海路あり  
しるすべし  
市井の事より市場を記す事  
用古未競業に付しり  
丁未年天啓  
秋平曾雲集  
市井の事より市場を記す事  
用古未競業に付しり

市井の事より市場を記す事  
用古未競業に付しり  
丁未年天啓  
秋平曾雲集  
市井の事より市場を記す事  
用古未競業に付しり





三月三日... 御...  
 一 毛... 御...  
 二 御... 御...  
 三 御... 御...  
 四 御... 御...  
 五 御... 御...  
 六 御... 御...  
 七 御... 御...  
 八 御... 御...  
 九 御... 御...  
 十 御... 御...

0

三月三日... 御...  
 一 御... 御...  
 二 御... 御...  
 三 御... 御...  
 四 御... 御...  
 五 御... 御...  
 六 御... 御...  
 七 御... 御...  
 八 御... 御...  
 九 御... 御...  
 十 御... 御...

龍吟三言枝正向井...  
 口裏所置修業証書...  
 此三言三句...  
 修業証書...  
 山田志一  
 山田志一  
 山田志一  
 山田志一

修業証書...  
 山田志一

修業証書...  
 山田志一





中政川出方にて約介のありたり  
 十月十日ありて 〇九ノ五ノ一  
 常務外他中ノ一  
 十月二十日天 〇九ノ五ノ一  
 十月十日ありて 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一

斗室七名ありて 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一  
 〇九ノ五ノ一 〇九ノ五ノ一

あると神社と別々宗寺村長寺  
宗寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺

寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺  
寺と別々社寺





〇  
 今更年行... 安楽川村  
 去年... 安楽川  
 本年... 安楽川  
 去年... 安楽川  
 本年... 安楽川  
 去年... 安楽川  
 本年... 安楽川  
 去年... 安楽川  
 本年... 安楽川

千七百... 安楽川村  
 本年... 安楽川  
 去年... 安楽川  
 本年... 安楽川  
 去年... 安楽川  
 本年... 安楽川  
 去年... 安楽川  
 本年... 安楽川  
 去年... 安楽川  
 本年... 安楽川



安楽川村文書

ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天

安楽川村文書

ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天  
ノコナシ天

0147

安楽川村文書Ⅱ 文書番号 165









一 書名 言部 於 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
三 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
一 採 田 代 多 人 考 及 以 石 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石

五 日 百 天 四 三 三 三 三 三

考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石  
考 日 考 年 上 考 及 採 田 代 多 人 考 及 以 石

0150

安樂川村文書Ⅱ 文書号 165



予、昔、安楽川村、生れし、是、後、今、係  
居、之、自、持、之、海、邊、上、東、日、出、時、亦、以  
降、之、  
予、昔、曾、天、  
市、中、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法  
原、之、西、木、立、亦、中、之、地、亦、在、其、法、  
市、中、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法  
海、邊、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法  
又、海、邊、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法  
自、方、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法

予、昔、曾、天、  
市、中、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法  
原、之、西、木、立、亦、中、之、地、亦、在、其、法、  
市、中、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法  
海、邊、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法  
又、海、邊、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法  
自、方、之、地、亦、得、自、得、信、其、地、亦、在、其、法

一、安楽川村文書



如多功同し 少少後落 粟 寺 在 改 治 以 外  
 去 日 之 音 年 之 所 以 身 為 也 何 十 三 十 七  
 市 子 田 取 治 記 林 寺 年 史 西 社 史 信  
 和 寺 十 四 卯 六 二 二 二 社 産 能 年 取  
 接 ぐ 野 史 以 ぐ 採 取 又  
 去 日 七 日 夫 何 十 三 十 七  
 去 日 如 同 如 史 年 取 又  
 去 日 八 日 夫 何 十 三 十 七  
 去 日 九 日 夫 何 十 三 十 七

如多功同し  
 如多功同し 少少後落 粟 寺 在 改 治 以 外  
 去 日 之 音 年 之 所 以 身 為 也 何 十 三 十 七  
 市 子 田 取 治 記 林 寺 年 史 西 社 史 信  
 和 寺 十 四 卯 六 二 二 二 社 産 能 年 取  
 接 ぐ 野 史 以 ぐ 採 取 又  
 去 日 七 日 夫 何 十 三 十 七  
 去 日 如 同 如 史 年 取 又  
 去 日 八 日 夫 何 十 三 十 七  
 去 日 九 日 夫 何 十 三 十 七





丁酉 未 百 好  
 鳥子午前下車到法行...  
 与夫...  
 丁酉 未 百 好  
 鳥子午前下車到法行...  
 与夫...

丁酉 未 百 好  
 鳥子午前下車到法行...  
 与夫...  
 丁酉 未 百 好  
 鳥子午前下車到法行...  
 与夫...

和歌山  
 安樂川村文書  
 165

0155

安樂川村文書 II 文書番号 165





宗英後又... 誠丸... 宗英...  
 宗英後又... 誠丸... 宗英...  
 宗英後又... 誠丸... 宗英...

一、大改凡... 宗英...  
 一、大改凡... 宗英...  
 一、大改凡... 宗英...

宗樂川書院

考中... 川村... 一...

... 川村... 川村...

... 川村... 川村...

... 川村... 川村...

... 川村... 川村...



祝言を伴ひて出立なりし出立の旨に  
古より平均松岡種造格に伴ひ神意を  
古より甲中修二の御伊弉  
古より上之御無事なり 地守馬防中幸此なり  
松岡の義 古より神田疎紀平 古より  
津田の義 古より神田平 古より  
作年 古より 山名平 古より  
古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より

古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より  
古より 古より 古より 古より

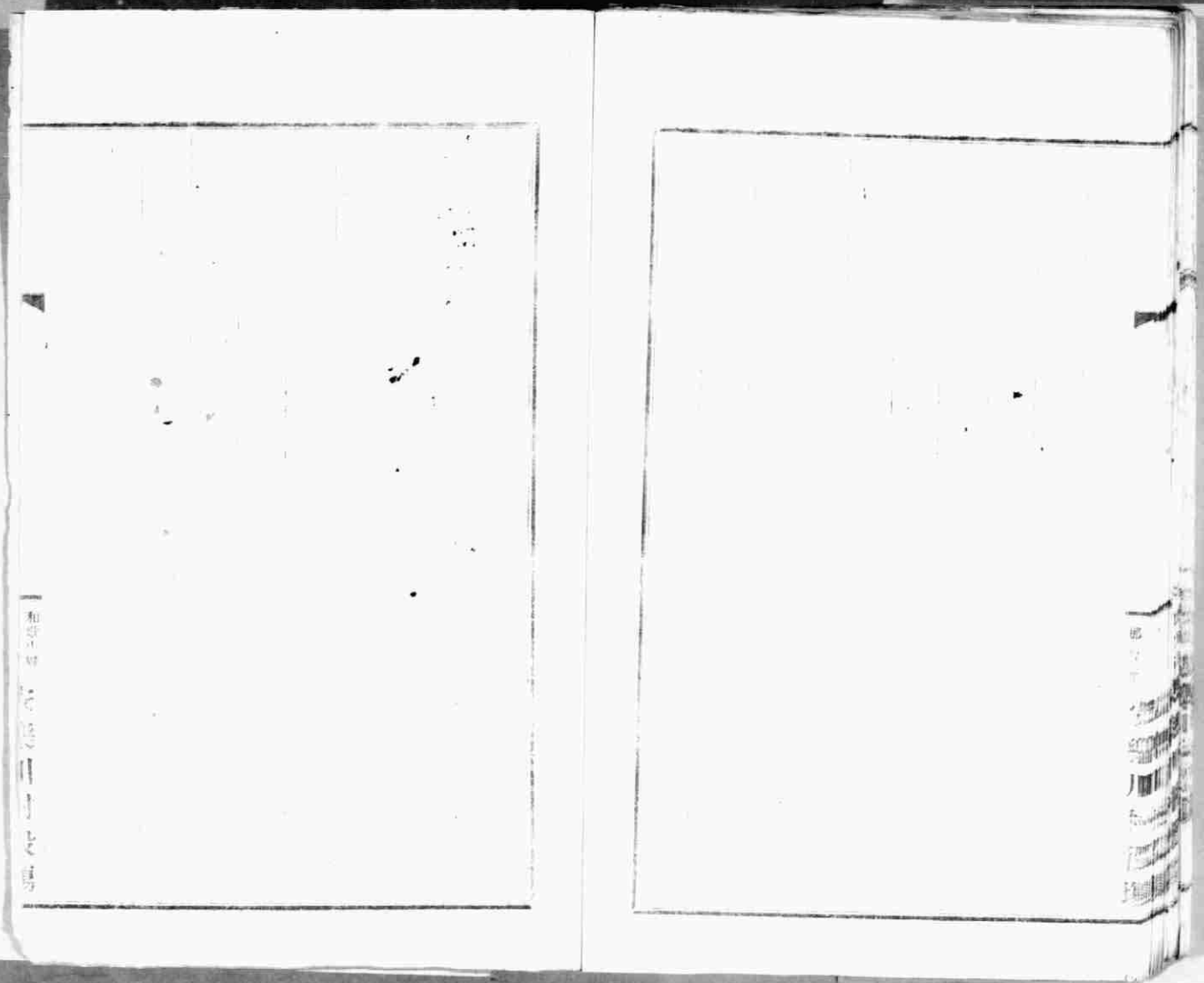
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

安楽川村文書  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

0159

安楽川村文書Ⅱ 文書番号 165





0160

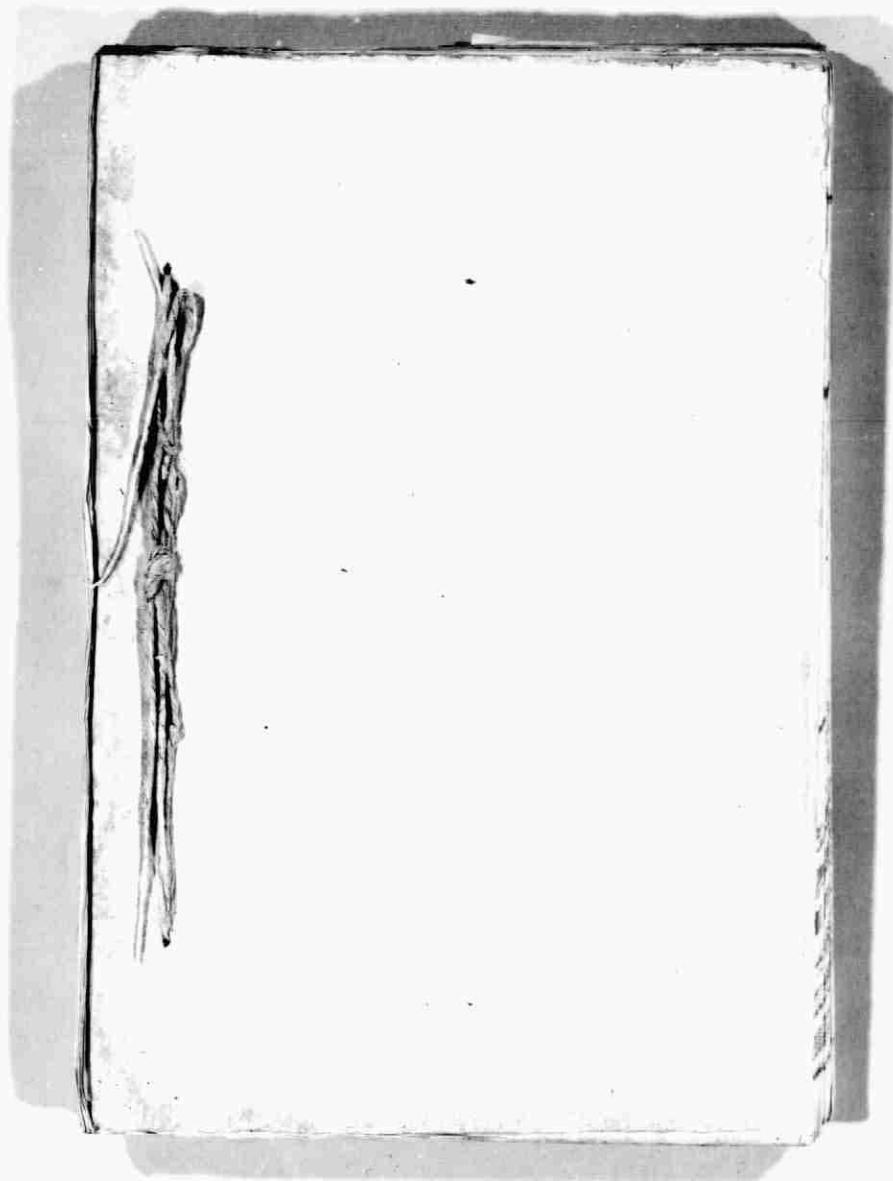
安楽川村文書Ⅱ 文書番号 165



0161

安楽川村文書Ⅱ 文書  
番号 165

7 98 99 28m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24



0162

安楽川村文書Ⅱ

文書  
番号

165

28m

7 9 8 9 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24